

2026年3月27日

## 「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の実行について 【株式会社アイオイ保険センター】

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 案件概要（「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の概要は【別紙 1】をご参照ください）

融資実行日	2026年3月27日
融資形式	証書貸付
融資金額	5千万円
融資期間	5年
目標	有給休暇取得率 男性育児休業取得率
その他	ひろぎんエリアデザイン株式会社から〈ひろぎん〉SX ネクストローンにかかる評価書【別紙 2】を取得しております。

### 2. 企業概要

会社名	株式会社アイオイ保険センター
所在地	広島県安芸郡熊野町出来庭 4 丁目 17 番 37 号
代表者	堀内 充輝
業種	保険代理店業
事業内容等	東広島市、熊野町、呉市に事務所を置き、個人および法人向けに損害保険や賠償保険等の商品を取り扱っています。保険商品を通じて顧客に安心を提供することを使命とし、正確かつ迅速な情報提供や、高品質なサービスの提供を重視しています。地域に根ざした信頼される代理店として、地域の皆さまから選ばれる存在を目指し、さらなる品質向上と多様なサービスの提供に努めてまいります。

以上



広島銀行では、SDGs への取り組みを強化しております。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行  
営業企画部 法人企画室  
TEL (082) 247-5151 (代表)

## 「(ひろぎん)SX ネクストローン」について

## ○特長

- ・地元企業のサステナビリティ向上に寄り添い、地域のサステナビリティ向上に資する取組みについて、資金面からご支援します。
- ・お客さまと地域のサステナビリティ向上につながる目標を設定していただき、目標達成の場合に金利引き下げを実施します。
- ・対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

## ○商品概要

対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま ・自社と地域のサステナビリティ向上に資する目標を設定※ ・年 1 回のレポートの実施（お客さまから銀行への報告） ※設定目標には、ひろぎんエリアデザインによる評価を実施
お使いみち	運転資金・設備資金
ご融資金額	当行所定の金額
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利（目標達成の場合、金利引下げを実施）
ご融資形式	証書貸付・当座貸越
ご返済方法	当行所定の審査によります
担保・保証人	
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります

- ・SX とは、Sustainability Transformation の略で、企業がサステナビリティ（持続可能性）を重視した経営方針に転換することです。
- ・本商品は環境省等が定めるガイドラインに適合する SLL（サステナビリティ・リンク・ローン）ではございません。

# 〈ひろぎん〉SXネクストローンにかかる評価書【別紙2】

## 株式会社アイオイ保険センター 〈ひろぎん〉SXネクストローン

発行日：2026年3月27日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行(以下、「貸付人」という)と株式会社アイオイ保険センター(以下、「借入人」という)の間の〈ひろぎん〉SXネクストローン(以下、「本ローン」)について、貸付人が、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目的とし、地域特性や業種特性を踏まえて独自に設定した評価基準に基づき、借入人のサステナビリティに対する取り組みを評価したものであり、以下にその評価結果を報告する。

## 1. 借入人とサステナビリティ

### (1) 会社概要

借入人は、広島県東広島市に本社を置き、損害保険および生命保険の代理店業務を中心に、地域の個人・法人顧客に対して総合的なリスクマネジメントサービスを提供する企業である。保険商品を通じて顧客に安心を提供することを使命とし、正確かつ迅速な情報提供と高品質なサービスを重視した提案活動を行っている。

地域に根ざし信頼され、地域から選ばれる代理店を目指すことを経営理念として掲げ、顧客一人ひとりのリスク状況を踏まえた最適な保険提案に努めている。また、業務品質の向上と専門知識を備えた人材の育成を重視し、顧客のトータルリスクを見据えた総合的なサポートを実践している。

これらの取り組みを通じて、地域社会に安心を提供し、その持続的な発展に貢献する企業である。



企業名	株式会社アイオイ保険センター
代表者	代表取締役 堀内 充輝
本社所在地	広島県東広島市西条中央4丁目1番24号
設立	1986年4月
資本金	300万円
事業内容	・損害保険代理店業 ・生命保険代理店業

(資料) 借入人ウェブサイトより作成



## (2) 事業内容

借入人は、主に法人向け・個人向け・代理店向けの3つの領域で事業を展開している。各領域の業務概要および特徴は以下のとおりである。

### 【借入人の事業領域】

区分	概要	特徴など
法人向け事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業活動に伴うさまざまなリスクに対応する損害保険・生命保険の提案およびリスクマネジメント支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車保険、火災保険、様々な事故による事業財産の損害・賠償責任に備える保険を中心に、企業の経営リスクと課題に応じた保険プランを提案</li> </ul>
個人向け事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車保険、火災保険、医療保険、生命保険など、個人の生活に関わるリスクに備える保険商品の提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客のライフステージや家族構成、資産状況などを踏まえたコンサルティング型の提案を重視</li> </ul>
代理店向け事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険代理店に対する業務支援や情報提供を行い、代理店ネットワークの強化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携のもと、同社の代理店制度であるAD Flagship Partnerとしての協業体制を活用し、商品知識や営業ノウハウの共有、研修・情報提供などを実施</li> </ul>

### 【借入人のネットワークによる支援体制】



#### AD Flagship partnerができること

- FA管理・指導  
(契約の勧誘・商品説明・保険契約・保全業務・見積書企画書申込書作成指導・満期管理指導・共同開拓など)
- 代理店監査補助
- 代理店異動手続き補助
- 目標管理・地域密着営業など
- 各種申請支援業務
- 募集人資格更新管理
- コンプライアンスの日常指導など
- 大規模自然災害時の事故サポートなど
- 地公体、地域マーケットとの地方創生取組
- 代理店の皆さまとのグループ構築

(資料) 借入人ウェブサイトより作成



### (3) サステナビリティ

借入人は、経営理念として「地域に根ざし地域に信頼され、地域から選ばれる地域No.1代理店を目指す」を掲げており、経営ビジョンとして「最高の業務品質と業務知識を備え、お客様に最良の商品を提供する代理店」および「お客様のトータルリスクを考え、安心を提供できる代理店」を掲げている。

また、「頼れる・迅速・優しい」をコンセプトに定め、地域の皆様を第一に考えた事業運営を行っている。税務相談・法律相談をはじめ、自動車やマイホームに関する相談会、各種セミナーなどのサービスを提供するとともに、関係機関とのネットワークを活用し、地域に確かな安心を届けることで地域社会の発展に貢献している。

#### 【借入人の経営理念と経営ビジョン】

経営理念	地域に根ざし地域に信頼され、地域から選ばれる地域No.1代理店を目指す
経営ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高の業務品質を有し、最高の業務知識を身に付け、お客様に最良の商品を提供する代理店</li> <li>お客様のトータルリスクを考え、安心を提供できる代理店</li> </ul>

さらに、上記の経営方針のもと、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念に賛同し、SDGsの達成に向けて活動している。

#### 【借入人のサステナブルな活動】

 	<p>保険代理店業を営み、万が一の事態に備える保険商品を提供することで、地域の皆様やお客様、さらにはその家族の安心と生活を支える役割を果たしている。</p>
	<p>保険代理店として、お客様および従業員に対して保険に関する金融知識の習得を促進している。また、各種セミナーや相談会を開催するなど、知識向上のための学びの場の提供にも取り組んでいる。</p>
 	<p>広島県の制度に基づく「リスクリング推進宣言」を行っている。リスクリングとは、技術革新等に伴う新たな働き方に対応するため、新しい知識やスキルを習得する取り組みであり、借入人は従業員の働きがいの創出に取り組んでいる。</p>
	<p>FD宣言（お客様本位の業務運営方針）を掲げ、コンプライアンスを徹底した業務運営を行っている。お客様の安心と安定を考え最良の商品を提供し、より一層の信頼を得られるように努めている。</p>
  	<p>従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、すべての従業員が多様な働き方を実現できる労働環境の整備、有給休暇の取得促進などに取り組んでいる。</p>

(資料) 借入人ウェブサイト等より作成



## 2. 目標の選定

### (1) 目標の概要

借入人は目標として、「有給休暇取得率」および「男性育児休業取得率」を選定した。有給休暇取得率とは、従業員に付与された年次有給休暇の日数のうち、実際に取得した日数の割合を指し、社員全体での目標達成を目指すものである。一方、男性育児休業取得率とは、育児休業等を取得した男性従業員の割合を指し、対象者がいる場合に目標達成を目指すものである。

### (2) 目標の重要性

本目標は、労働者の心身の疲労の回復とそれに伴う生産性の向上、および男女ともに仕事と育児を両立する社会の実現につながるため、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

### (3) 経営方針と目標の関係

借入人は、前述のサステナビリティへの取り組みにおいて、「地域に根ざし地域に信頼され、地域から選ばれる地域No.1代理店を目指す」という経営理念のもと、従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、すべての従業員が多様な働き方を実現できる労働環境の整備、有給休暇の取得促進などに取り組んでいる。したがって、本目標として選定した「有給休暇取得率」および「男性育児休業取得率」の向上は、同社のサステナビリティ経営と整合する取り組みである。

### (4) 目標の有意義性

わが国では、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「育児・介護との両立など働く方のニーズの多様化」といった課題に直面しており、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境の整備が重要視されている。

労働者の心身の疲労回復と仕事の生産性向上につながる「年次有給休暇の取得」は、労働者に与えられた法律上の権利であり、本来付与された年次有給休暇はすべて取得されることが望ましい。しかしながら、厚生労働省が行った「令和6年就労条件総合調査」によると、令和5（2023）年の労働者1人当たりの年次有給休暇取得率は65.3%にとどまっている。近年、取得率は大きく上昇しているものの、さらなる改善の余地があり、今後の向上が期待されている。

### 【労働者1人平均年次有給休暇の取得状況】

企業規模・産業・年	(単位：日)		(単位：%)
	労働者1人平均付与日数 <sup>1)</sup>	労働者1人平均取得日数 <sup>2)</sup>	労働者1人平均取得率 <sup>3)</sup>
令和6年調査計	16.9	11.0	65.3
1,000人以上	17.1	11.5	67.0
300～999人	17.3	11.5	66.6
100～299人	16.5	10.4	62.8
30～99人	16.6	10.6	63.7
飲業、採石業、砂利採取業	17.8	12.7	71.5
建設業	17.8	10.8	60.7
製造業	18.3	12.9	70.4
電気・ガス・熱供給・水道業	18.7	13.2	70.7
情報通信業	18.7	12.5	67.1
運輸業、郵便業	17.8	11.1	62.2
卸売業、小売業	16.7	10.1	60.6
金融業、保険業	15.1	9.9	65.4
不動産業、物品賃貸業	16.9	10.6	62.4
学術研究、専門・技術サービス業	18.6	12.2	65.7
宿泊業、飲食サービス業	11.6	5.9	51.0
生活関連サービス業、娯楽業	13.9	8.8	63.2
教育、学習支援業	17.7	10.1	56.9
医療、福祉	16.4	11.0	66.8
複合サービス事業	19.7	10.8	55.0
サービス業（他に分類されないもの）	15.1	10.7	71.1
令和5年調査計	17.6	10.9	62.1

注：1) 「付与日数」は、繰越日数を除く。

2) 「取得日数」は、令和5年(又は令和4会計年度)1年間に実際に取得した日数である。

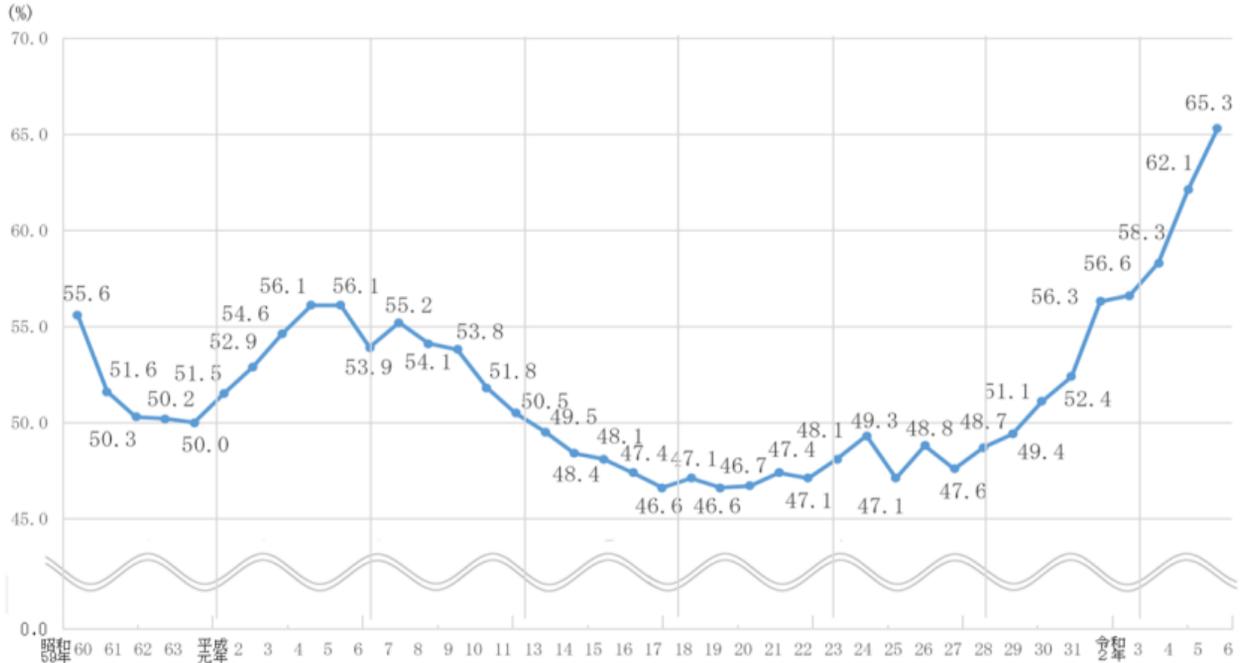
3) 「取得率」は、取得日数計/付与日数計×100(%)である。

(資料) 厚生労働省「令和6年就労条件総合調査」



こうした中、「過労死等の防止のための対策に関する大綱」（厚生労働省制定）では、令和10（2028）年までに年次有給休暇取得率を70%以上とする目標が掲げられている。これを踏まえ、労働基準法の改正による年次有給休暇の一定日数取得義務化や、計画的付与制度の導入促進など、政府による積極的な取得促進策が進められている。

### 【労働者1人平均 年次有給休暇取得率の年次推移】



（資料）厚生労働省「令和6年就労条件総合調査」

他方、男性の育児休業の取得については、女性の継続就業や、仕事と生活の両立における重要な課題の1つとなっている。国立社会保障・人口問題研究所の調査によると約5割の女性は出産・育児を機に退職しており、妊娠・出産を機に退職した理由では、「仕事と育児の両立の難しさで辞めた」が41.5%と最も大きな割合を占めている注1。一方、夫の家事・育児時間が長くなるほど妻の継続就業率は高く第2子以降の出生割合も高い傾向にあるが、日本において6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間は1時間程度であり、諸外国と比較しても低水準となっている注2。

少子高齢化に伴う人口減少という課題があるなか、出産や育児による労働者の離職を防ぎ、男女ともに仕事と育児を両立する社会を実現させることは極めて重要である。

注1 令和2年度仕事と育児等の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書より抜粋

注2 厚生労働省「育児・介護休業法の改正について」より抜粋

以上のことから、借入人が選定した本目標は、サステナビリティの実現に向けた国内目標および社会情勢と整合しており、有意義な取り組みであるといえる。



### 3. 目標値の設定

本ローンの目標値の設定については、以下の（１）から（３）の観点より適切な内容で設定されていると評価する。

#### （１）目標値の概要

借入人は、目標として設定した「有給休暇取得率」および「男性育児休業取得率」について、2026年10月期から2030年10月期にかけて下表のとおり目標値を設定した。

#### 【借入人の目標値】

	実績		本目標値の対象					(参考) 2031年 10月期
	2024年 10月期	2025年 10月期	2026年 10月期	2027年 10月期	2028年 10月期	2029年 10月期	2030年 10月期	
有給休暇取得率 (%)	42.9	59.5	60.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
男性育児休業取得率 (%)	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

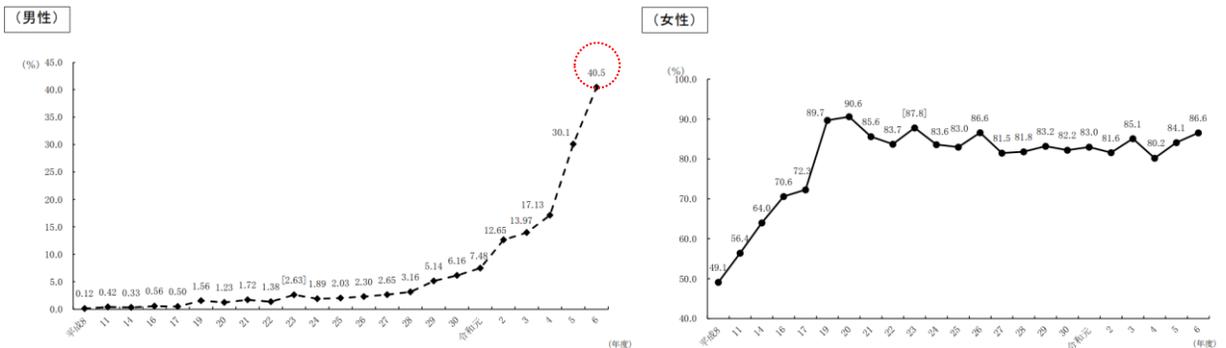
(注) 各年度の判定期間は11月1日～10月31日。初回判定日は2026年10月31日。

#### （２）目標値の妥当性

借入人の有給休暇取得率は、直近2期平均で51.2%であり、前述の労働者1人当たりの平均取得率と比較すると、該当業種（金融業・保険業）の平均値（65.4%）を下回っているものの、設定された目標値は、政府が掲げる「2028年までに70%」という水準の達成を前倒しで目指す内容となっている。

また、男性育児休業取得率については、設定された目標値は、対象期間を通じて対象者がいる場合に100%を目指すものであり、厚生労働省「令和6年度雇用均等基本調査」で公表された取得率40.5%を大きく上回る、非常に挑戦的な内容となっている。

これらの複合的な取り組みは、就労環境の改善に向けた高い水準の目標であり、同社のサステナビリティ経営の高度化に資するものである。



(注) 平成23年度の[ ]内の割合は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果  
(資料) 厚生労働省「令和6年度雇用均等基本調査」

#### （３）目標値の適切性

目標値の適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインから評価書を取得している。



借入人は、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. 目標の選定」、「3. 目標値の設定」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビューおよび目標値として設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、地域特性や業種特性を踏まえて借入人が独自に設定した評価基準について確認の上、評価書を作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインが評価書を作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインの評価書は貸付人に提供される。

## ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031  
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億5,000万円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016



## 留意事項

### 1. ひろぎんエリアデザインの評価について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施する〈ひろぎん〉SXネクストローンについて、設定する目標の妥当性に対する評価を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

### 2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人およびひろぎんグループ企業との間、およびひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

### 3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

### 4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。